

3-3 体験現場調査

事業当初に想定し意識調査に盛り込んだ体験先・講習（案）と、アンケート調査による消費者の要望（ニーズ）を整理した結果を、表 3-3-1 に示す。

一方、意識調査における回答状況から、体験現場選定に留意すべき事項を整理し、表 3-3-2 に示した。これらを踏まえると、「土曜日・日曜日の開催を多く」、「遠方の体験は大人中心として平日開催で」を基本的な考えとし、実施日・実施場所を決定する際に留意することとした。

表 3-3-1 現場体験と講習会の候補（意識調査時）

区分	訪問場所	主なメニュー	ニーズ
水産系	①北るもい漁協	シジミ漁・サケ定置	○
	②東しゃこたん漁協	ウニ漁・ウニ剥き	○
	③寿都漁協	シラス・ホッケ開き	○
	④苫小牧漁協	ホッキ漁・スケソウ加工	○
	⑤砂原漁協	ホタテ養殖・甘エビ	○
	⑥森漁協	定置網・加工・料理	
	⑦きたひやま漁協	活イカ・捌き方・塩辛作り	○
	⑧青森県十三漁協	シジミ漁・資源管理	
	⑨近郊の加工場	漁場から加工まで	
	⑩近郊の卸売市場	荷受から仲卸・流通	
	⑪本州の生産者	本州の食文化	
農業系	①天塩町民農園	ジャガイモ・紅芋	
	②二セコ町	酪農・野菜収穫	○
	③真狩村	ジャガイモ収穫・調理	○
	④穂別農協	メロン・加工	
	⑤仁木町・七飯町	りんご・葡萄	○
	⑥東川町	アスパラ	
	⑦南幌町・北斗市	トウモロコシ・枝豆	○
	⑧知内町	長芋・ごぼう	
	⑨近郊の加工場	牛乳・タマゴ・チーズ	○
	⑩近郊の卸売市場	荷受から仲卸・流通	
	⑪本州の生産者	本州の食文化	
	⑫近郊の生産者（一連）	種植から収穫まで	
講習会	①幌加内	そば打ちなど	○
	②食品表示講習会	食の安全・表示	
	③和食料理講習会	和食文化・洋食	○
	④プレママ講習会	美容食教室	
	⑤クッキング教室	健康料理教室	○
	⑥街の豆腐屋さん	豆腐のレシピ	○
	⑦栄養バランス講習	栄養バランス	○
	⑧低栄養防止	在宅医療	

ニーズ欄の「○」は、意識調査での要望が比較的多かったもの

表 3-3-2 体験現場選定における主な留意事項（意識調査時）

留意すべき事項	・水産系体験、農業系体験、講習会への関心は同等 ・その中で水産系は、天塩、積丹、北ひやま、農業系は、ニセコ、真狩、穂別、加工場の関心が高い。 ・個別要望としては、30～40 代の方から「子供と一緒に参加したい」という要望が目立った。 ・参加の意向については、20～40 代の方から、「仕事があるので」「子供が小さいので」参加が難しいという声が多い。 ・学生・働く世代・子供が小さい世代（10～40 代）の方は、土日開催希望が約 35%、夏休み開催希望が約 25%。 ・50 歳以上の方は、平日開催希望が約 35%、土日開催が約 25%。 ・全体的に、早めに日程が分かれば日程調整が可能との事。
---------	--

上記の候補地・留意事項を元に、推進会議座長（山下准教授）、コーディネーター（秋山氏・塚原氏）に調整を依頼し、その結果を踏まえ体験メニューを決めるための「体験現場調査」を行った。

調査は、生産現場の受入可能人数・受入方法・体験できるメニュー・現地への移動方法等を明らかにすることを目的とし、分科会メンバー同行のもと実施している。

現場体験調査は、下記表 3-3-3 の日程で実施し、現地訪問の状況は写 3-3-1 のとおりである。

表 3-3-3 体験現場調査

月日	訪問場所	主な議題
7月 1日（水）	真狩村	農業系食育体験について
7月 3日（金）	知内町・松前町・福島町	農業系・水産系食育体験について
7月 6日（月）	蘭越町	農業系食育体験について
7月 7日（火）	天塩町	農業系・水産系食育体験について
7月 9日（木）	積丹町	水産系食育体験について
7月10日（金）	江差町	水産系食育体験について
7月14日（火）	千歳市	工場見学系食育体験について
7月15日（水）	森町	水産系食育体験について
8月 5日（水）	北海道栄養士会	講習会について
8月10日（月）	真狩村	農業系食育体験について
8月20日（木）	北海道栄養士会	講習会について
8月27日（木）	札幌消費者協会	講習会について



現場体験調査（真狩村）



現場体験調査（知内町）

写 3-3-1 現場体験調査（1）